

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）
令和3年度採択テーマ
事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合 評価
火山地域における土石流の流出補正係数の推定 （研究期間：R3 年度～R5 年度）	九州大学 准教授 水野秀明	B
< 研究概要 > 本研究では、流出補正係数の推定に必要な情報を蓄積している桜島を対象として、流出補正係数の実態を明らかにし、それと「砂防基本計画策定指針（土石流・流木対策編）解説」（国総研資料 904 号）に示された算出方法により算出した値を比較した。その結果、流出補正係数は流域全体では国総研資料の算出方法よりも低く、降灰で覆われた小流域では高いことが明らかとなった。上限値を従来の値から引き上げる必要があることが分かった。		
< 事後評価コメント > 本研究では、桜島における年度ごとの測量成果等を用いて、土石流・流木対策計画の策定における運搬可能土砂量の算出に用いられている流出補正係数の実態の解明と現行式から算出される数値の妥当性について検証を行い、流域面積 0.2km² 以下かつ降灰で覆われた小流域では従来式からの値よりも高くなる場合があることを示すとともに、その改善式を提案したことが評価出来る。 今後は、土石流 1 回あたりの流出補正係数の検証、他火山・他地域かつ長期のデータを用いた流出補正係数の検証、流出補正係数の推定に用いる流域面積以外の影響や他の係数の考察を進めていただきたい。		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い